

すすらん通り

特集 北海へそ祭り

「わたしたちは北海道の中心標が立つ富良野の市民です」
1969年に制定された富良野市民憲章の最初の言葉です。



郷土の特色を生かした民衆手作りの祭りを模索していた当時のすすらん商店街協同組合理事長操上秀峰氏は、その著書の中で「物にはすべて中心がある。中心は人間でいえばへそだから市民憲章ができた機会に『へそ祭り』『へそ音頭』『へそ踊り』を創作したら郷土の芸能祭りにならぬものかと創案作りに着手しました」と書いています。

当時の「すすらん通り商店街」協同組合理事長であった横尾栄治郎氏、富良野民謡協会会長の森田藤八氏に前述の操上秀峰氏が「へそ三羽鳥」といわれながら、東方西走、連日連夜の創作活動の中から「北海へそ祭り」は始まりました。第1回は、1969年8月15日に開催されました。パレードの参加者が300人。囃腹を描いた踊り手は11人だったそうです。2010年、昨年(2009年)の動員数は74,000人。踊り手は、3,700人になりました。

「へそ三羽鳥」の1人横尾さんの言葉が遺されています。「タネはまいた、富良野は砂漠じゃないから市民の心の土にしめりさえ絶やさねば必ず芽を出して育つヨ、花が咲いて実が結ぶには50年はかかるネ、徳島の阿波踊りなんか700年もかかっているんだ、北海へそ祭りが育つも育たぬも市民の協力次第だヨ」。

2012年の今年も先人の夢を叶えるべく44回目の北海へそ祭りが開催されます。



ふらびズム ふらのエリアに住む/フリーペーパー

発行日 2012年07月10日
発行 富らびズム協議会
企画・進行 (株)ラジオふらの 事業部 丸山・藤本
連絡先 E-mail info@furabism.furano.jp
情報協力 富らの市移住促進協議会
写真提供 北海へそ祭り保存会/富良野GROUP
富良野市/フラノビ・アモール実行委員会



楽しく踊ろう! それがすべて

「ご希望とあれば、冬でも、海外でも囃腹と踊りを見せに行きますよ～」と語る大滝さん。「へそ踊り保存会」の一員として、忙しい本業の合間を縫って、できる限りマスコミ対応をします。「地元では、あたり前になった祭や踊りに関心をもってくれるなら喜んで出向きたい、富良野に興味を抱いてくれるのが本当にありがたい」からです。



大滝哲也さん
富良野市在住
(へそ踊り保存会)

へそ踊りを中心とする北海へそ祭りは、富良野市民がボランティアで関わるイベントです。祭りの企画、構成、進行、囃腹を描く絵師、笠や衣装の管理、着付け、交通整理…と仕事に限りはありません。踊りには、その日来た旅行客でも参加することが出来ます。大滝さんは、20年ほど前、東京からUターンして実家を継ぎました。地域の若者が集う青年会議所(JC)に入り、へそ祭りの企画演出部に参加しました。この祭りは、もともと地域活性化を願う先輩たちが、商工祭を町全体のお祭りに創り上げた経緯があります。大滝さんは踊り手としても当然のように担ぎ出されました。コンプレックスだった太ったお腹に、たくましくおらかな顔が描かれると囃腹が完成。踊り出すと指を射されて笑われこともあります。不思議なことにその嘲笑も、踊るたびに快感へと変わりました。

胸に刻み込んだ忘れられない先輩の言葉が大滝さんにはあります。日本中のイベントや祭りに企業が積極的に冠スポンサーになった90年代、先輩に「北海へそ祭りにもきつと冠スポンサーがついてくれますよ」と言ったら、「そんなことしたら、俺たちの祭りじゃなくなっちゃうよ」と答えが返ってきました。「この祭りは、誰もが平等で、手作りで、自分たちが汗をかかなくちゃ面白くないさ」

今年も7月28日、29日に北海へそ祭りが開催されます。たまたま土曜、日曜になりましたが、平日でも当然行われ、仕事をやりくりしながら、踊り手として、裏方として、市民が祭りを創り上げます。今年の祭りが終わる時、来年の祭りまで「また、仕事がんばるか…」という気分が自然とわき湧き上がってくるそうです。(藤)

今年の夏は“へそ”の 富良野で盛り上がりましょう!



石出 訓義さん
(富良野市経済部 商工観光室 商工観光課)

北海へそ祭りは、1969年から続く富良野の代表的な祭りで、今年、44回目を迎えます。親と子の絆、市民同士の絆、市民と観光客の皆様の絆を確認する日として、毎年7月28、29日に開催しています。

メインは何と言ってもお腹を顔に見立てて踊る「へそ踊り大会」。お腹の大きさや動かし方で表情が変わり、そのユニークさは必見です。両日とも19時～20時に行われ、基本はお腹に絵を描く囃腹踊りですが、浴衣や仮装での参加ができます。小学生未満だけの「子どもへそ踊り大会」もあり、市内の幼稚園、保育所のチビッコが元気いっぱい踊る姿を応援しに来てください!

そして、今年の目玉は「食」!富良野ならではのカレーにラーメンにチーズフォンデュなど地元産の食材を使ったメニューがずらりと並び、みなさんの本能(胃袋)を大満足させます。

へそ踊りは、祭り当日でも、飛入り参加が出来ます。28、29日の両日とも15時～18時まで受付を行います。

ご参加お待ちしております。
<http://www.furano.ne.jp/hesomatsuri/> ☎0167-39-2312

お問合せ info@furabism.furano.jp

ラジオふらの 検索 <http://www.furabism.furano.jp>